

## トピックス

### ● 中瀬製錬所設備保全場建屋の新設

当社の創業間もない1936年に中瀬製錬所(兵庫県養父市)の選鉱場として建てられ、採掘休止後は、設備保全場として使用していた建屋を老朽化に伴い解体し、この度新設いたしました。

隣接していたコンプレッサー室や所内に点在していた設備関係の資材倉庫を集約し、設備点検・修理作業の効率化、コストダウンを図りながら、設備保全レベルの向上を実現いたします。

この設備保全場建屋の更新により、今後も製造設備の安全・安定操業を実現し、お客様へ高品質な製品を安定供給してまいります。



(新設された設備保全場建屋)

### ● つくば工場の増築完了、増産設備の試験稼働開始

子会社の日本アトマイズ加工株式会社つくば工場(茨城県牛久市)では、2024年1月に増築棟が竣工し、生産設備を導入しました。4月17日に安全祈願を行い、本格的な製造に向け試運転を開始しました。

新增築棟は、床面積1,367m<sup>2</sup>の2階建てで、電子部品であるメタル系パワーインダクタ向けの鉄合金粉末の製造に特化した工場となっております。

本工場を基盤に、生成AI関連需要の拡大など、最新の電子部品市場の成長トレンドに即した体制を強化してまいります。



(つくば工場増築完了後の外観)

## 会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
会計監査人	新宿監査法人
従業員数	連結 250名 単体 88名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711 (フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< <a href="https://www.nihonseiko.co.jp">https://www.nihonseiko.co.jp</a> > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



初夏の会津駒ヶ岳

# 第129期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

## 株主の皆様へ

日本精鉱グループは  
グループ力を発揮し、  
持続可能な事業の  
成長に向け、  
チャレンジします



代表取締役社長  
植田 憲高

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第129期(2023年4月1日～2024年3月31日)においては、足踏みもみられるものの緩やかな景気回復の動きが続いています。

一方、世界的な物価上昇の継続に加え、欧米の金融引き締め、中国経済の先行き懸念、ウクライナや中東の情勢など地政学リスクの高まりにより国内外の先行きは不透明な状況が続いております。事業環境においては、巣ごもり需要の一巡などで需要が減少していた電子部品関連で在庫調整の収束が見られる他、自動車分野は緩やかに回復しているものの、家電分野などは回復が遅れています。

このような環境下、当社グループは2022年4月よりスタートした「グループ力を発揮し、持続可能な事業の成長に向けて、チャレンジし続けるChallenge for Sustainable Growth」をスローガンとする中期経営計画(2022～2024年度)に基づき、事業活動に取り組んでおります。

こうした取り組みの結果、当期の連結売上高は前期比2.1%減収の15,589百万円、営業利益は同16.0%減益の674百万円、経常利益は同10.8%減益の706百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同4.3%増益の502百万円となりました。

なお、当期の期末配当金は、1株当たり40円とさせていただきます。中間配当金と合わせ、1株当たり80円(前期比△40円)となります。

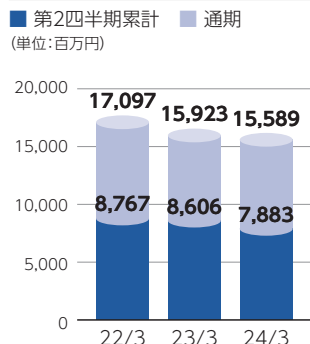
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

## 連結財務ハイライト

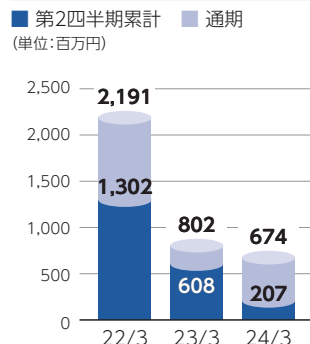
### ● 売上高

15,589百万円



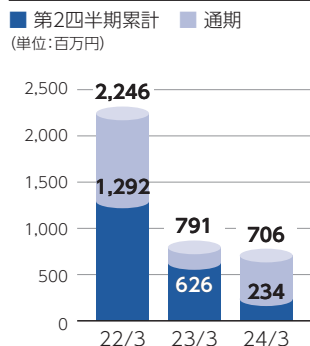
### ● 営業利益

674百万円



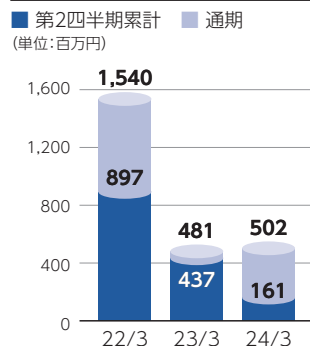
### ● 経常利益

706百万円



### ● 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

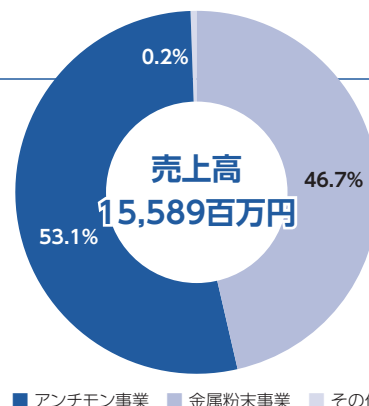
502百万円



## セグメント別概況(連結)

### ● アンチモン事業

プラスチック材料の難燃剤が主用途の三酸化アンチモンは、火災防止のために広範な産業分野で使用されます。自動車分野は緩やかに回復する一方、家電分野などの回復は遅れています。また、製造業全般の生産部品について、顧客の在庫調整が続き、販売数量が減少しました。売上高は前期比15.0%減収の8,274百万円、セグメント利益は同62.7%減益の291百万円となりました。



### ● 金属粉末事業

電子部品向け金属粉末については、顧客の在庫調整が収束し、販売数量が増加しました。粉末冶金向けにおいても、自動車分野での生産回復に伴い下期より受注量が回復しました。売上高は、比較的販売単価の高い製品の販売増により、前期比18.3%増収の7,282百万円、セグメント利益は操業度上昇等から337百万円(前期は11百万円の損失)となりました。

## 連結財務諸表

### ● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2024.3.31)	前連結会計年度 (2023.3.31)
資産の部		
流動資産	9,706,134	8,829,084
固定資産	6,168,288	5,124,839
(有形固定資産)	5,567,040	4,561,560
(無形固定資産)	154,415	149,773
(投資その他の資産)	446,832	413,505
資産合計	15,874,422	13,953,923
負債の部		
流動負債	4,230,169	3,467,328
固定負債	1,943,083	1,077,724
負債合計	6,173,253	4,545,052
純資産の部		
株主資本	9,637,343	9,370,743
その他の包括利益累計額	63,826	38,127
純資産合計	9,701,169	9,408,871
負債純資産合計	15,874,422	13,953,923

### ● 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2023.4.1～2024.3.31)	前連結会計年度 (2022.4.1～2023.3.31)
売上高	15,589,359	15,923,384
売上総利益	1,789,212	1,925,020
営業利益	674,487	802,976
経常利益	706,269	791,479
税金等調整前当期純利益	693,501	790,280
当期純利益	502,741	481,850
親会社株主に帰属する当期純利益	502,741	481,850